

越前鯖江
デザイン
経営
スクール

Echizen Sabae
Design management School

デザイン経営シンポジウム

こわくないデザイン

経営とデザインとの付き合い方を探る 2023.7.7 Fri 14:00-17:00 (開場13:30)

入場無料
(予約優先)

〈会場〉福井ものづくりキャンパス(小ホール) サンドーム福井内 越前市瓜生町5-1-1
〈定員〉100名程度



鯖江市・越前市共催事業

「こわくないデザイン」

— 経営とデザインとの付き合い方を探る —

2023年7月7日(金) 14:00-17:00 (開場13:30)



〈会場〉福井ものづくりキャンパス(小ホール) サンドーム福井内 (入場) 無料(予約優先)
 〈定員〉100名程度 〈予約方法〉QRコードよりフォームからお申込みください <https://x.gd/2RpLD>

■基調講演 第一部

「日本のデザイン政策における“地域とデザイン”」 14:10 ~ 14:50



講師 | 原川 宙 経済産業省 デザイン政策室 室長補佐
 民間企業を経て2012年に経済産業省特許庁入庁。意匠審査官として産業機器や民生機器、内装等の企業ブランディングの核となる意匠審査等を担当し、2021年7月から現職。国内外のデザイン政策、地域とデザインに関する調査研究等を担当。数少ない美大卒官僚として、「これからのデザイン政策を考える研究会」を主宰。

■基調講演 第二部

「ともにつくるデザイン」 14:55 ~ 15:40



講師 | 原田 祐馬 UMA / design farm 代表
 1979年大阪生まれ。UMA/design farm代表、どく社共同代表。グッドデザイン賞審査委員、第18回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展キュレーターなど。大阪を拠点に地域に関わるプロジェクト、グラフィック、空間や企画開発などを通して、理念を可視化し新しい体験をつくりだすことを目指している。愛犬の名前はわかめ。

■パネルディスカッション 「デザインとの付き合い方」 15:50 ~ 16:40



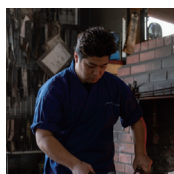
パネラー | 小松原 一身 株式会社ポストクラブ 代表
 1958年生まれ。1984年に鯖江市で眼鏡デザイン企画販売会社「BOSTON CLUB」創業。創業当時から大手アパレルメーカー、DCブランド、眼鏡商社のOEM、ODMを手掛ける。そのノウハウを活かしハイレベルな技術力と高品質なモノづくりを強みとして4つのオリジナルブランドを展開。世界、そして誰もが認める「めがねの聖地」を目指している。



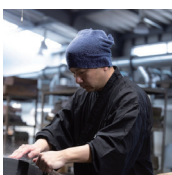
パネラー | 関坂 達弘 株式会社セキサカ 代表取締役
 1980年福井県生まれ。2007年Design Academy Eindhoven卒業。東京のデザイン事務所勤務後、2014年に創業1701年の漆器メーカー・株式会社セキサカに入社。2019年に代表取締役役に就任。自社ブランドのディレクションや直営店ataWのディレクション兼バイヤーを担当。国内外のデザイナーとプロダクト開発を行う。



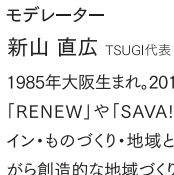
パネラー | 山下 寛也 山次製紙所
 1979年越前市生まれ。明治元年創業の手漉き越前和紙メーカー「山次製紙所」で、オリジナル度が高くプロダクト化しやすい和紙を製造する。近年では、海外に向けた退色しない和紙の開発や、型押し技法によりエッジ精度の高い模様を浮か立させた「浮き紙」の開発などにも取り組む。独自ブランドの「UKIGAMI」も展開。



パネラー | 池田 拓視 タケフナイフビレッジ / 安立打刃物 代表
 神奈川県で育つも、母方の家業である安立打刃物の五代目になることを決意。四代目勝重の下で修行を重ね、2007年に大学卒業後、安立打刃物へ入社。2019年度には越前打刃物の伝統工芸士に認定。2021年より安立打刃物の5代目を継ぎ、各種鍛造包丁、各種ステンレス鍛造包丁など、1本1本火造りで鍛造された刃物の製造を続けている。



パネラー | 戸谷 祐次 タケフナイフビレッジ 理事 / Sharpening four 代表
 1976年越前市生まれ。2018年に越前打刃物伝統工芸士の認定を受ける。2020年には祖父、父の跡を継ぎ、新社名「Sharpening four」をスタートさせる。主に両刃包丁、各種刃物の研ぎ仕上げ、研ぎ直しを担うほか、シフォンキー型抜きナイフの開発や、パリでの研ぎ実演・講習、共同開発ブランド「ハツ(HATSU)」の立ち上げなど、幅広く活動。

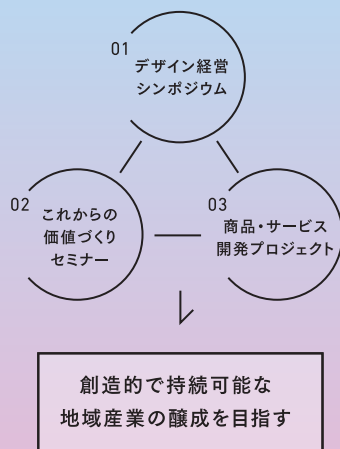


モデレーター
内田 裕規 株式会社ヒュージ 代表
 2003年からクリエイティブな視点でデザイン、ブランディングを手がけ、主にリノベーションをテーマに文化創造拠点FLAT、CRAFT BRIDGEの拠点づくり。千年未来工芸祭のプロデュースなど。

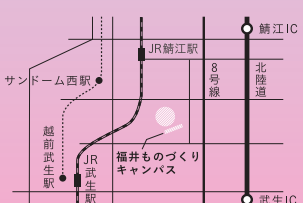
越前鯖江 デザイン経営スクールについて



「これからの地域を支えるデザイン経営」を本気で学ぶ場所「越前鯖江デザイン経営スクール」が、鯖江市と越前市の共催により2023年にスタートします。スクールの柱となるのは「デザイン経営シンポジウム」「これからの価値づくりセミナー」そして「商品・サービス開発プロジェクト」。これら3つの学びの場を通して、デザイン経営の視点をもつ事業者や広義のデザインを実践するクリエイター、そして彼らを支える右腕人材を越前鯖江エリアに増やすことを目指します。



公式HP <https://echizensabae-design.com>
 ※7/7公開予定



〈会場〉
 福井ものづくりキャンパス(小ホール) サンドーム福井内
 〒915-0096 越前市瓜生町5-1-1
 〈アクセス〉
 徒歩/JR鯖江駅から約15分
 福井鉄道サンドーム西駅から約15分
 タクシー/JR鯖江駅から約3分 JR武生駅から約10分
 自動車/北陸自動車道 鯖江ICから約5分 武生ICから約7分

プログラム 01/デザイン経営シンポジウム

「越前鯖江デザイン経営スクール」の第一弾として、シンポジウム「こわくないデザイン-経営とデザインとの付き合い方を探る-」を開催します。デザイン経営に精通するトッププレイヤーによる基調講演と、デザイン経営を実践する産地企業4社によるパネルディスカッションを通し、産地の未来像を探ります。

02/これからの価値づくりセミナー(全4回)

「サーキュラーエコノミー」や「適量生産」「サービスデザイン」。これらのキーワードを通し、デザインの構想力により社会の中の大きなシステムを持続させる可能性を学ぶセミナーを開催します。

〈対象者〉県内外のものづくりやデザインに携わる方 (定員) 各回20名程度
 (受講料) 越前鯖江からご参加: 5,000円(全4回) 地域外からご参加: 10,000円(全4回)

03/商品・サービス開発プロジェクト (6ヶ月/月1回)

越前鯖江の企業と参加者(クリエイターや右腕人材の卵)を結びつけ、これからの時代にあった商品やサービスを開発する実践型のデザインスクールです。約半年間を通し、広義のデザイン視点を持った協働の姿勢を育みます。

〈対象者〉越前鯖江地域内事業者・県内外のものづくりやデザインに携わる方
 4チーム(※1チーム:事業者1社+参加者3-4名)
 (受講料) 越前鯖江地域内事業者: 100,000円 参加者: 10,000円

	2023	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024	1月	2月	3月
01/ デザイン経営シンポジウム		7.7 開催									
02/ これからの価値づくりセミナー			受講者募集	第1回	第2回	第3回	第4回				
03/ 商品・サービス開発プロジェクト			受講者募集			中間発表				最終発表	